

競技・審判上の確認

競技委員長 嵯峨 亘 道

審判委員長 川崎 尚子

1 競技規則について

- (1) 2026年度 公益財団法人 日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。ただし、ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。本大会はすべて3セットマッチとし、ワンボール・システムとする。また、大会使用球は、大会使用球は、男子：ミカサ製カラーボール「V300W」、女子：モルテン製カラーボール「V5M5000」とする。

2 チーム構成について

- (1) チームは監督・コーチ・マネージャー各1名・選手18名以内とし、試合毎に14名以内の選手をコンポジションシートにエントリーする。なお、監督・コーチがともに外部指導者の場合は引率責任者を（校長が認める当該校の職員、又は校長から引率を委嘱された「部活動指導員」※学校教育法施行規則第78条の2に示された者）を届け出なければならない。
- (2) 構成メンバー14人のうち、外国人留学生は2名までとし、コートへの出場はそのうちの1名に限る。
- (3) 参加申込書に記載された監督・コーチ・マネージャー・選手の変更がある場合、最終エントリー届に記載し競技委員長に届けること。
- (4) 各試合のエントリーは、第1試合はプロトコール30分前、第2試合以降は、前の試合の第1セット終了までに、競技本部に用意された各チームのコンポジションメンバーシートによりエントリーすること。試合が連続する場合は、試合後すみやかに提出すること。コンポジションメンバーとは、試合毎にエントリーされたメンバーである。

3 競技参加者について

- (1) 監督・コーチ・マネージャーは各1名、選手14名以内とする。監督・コーチは当該高等学校の職員、又は外部指導者とする。外部指導者の場合は道高体連災害補償制度に必ず加入することを条件とし、当該高等学校長および高体連バレーボール専門部長の承認を得なければならない。マネージャーは外部指導者・当該高等学校の教職員もしくは生徒とする。なお、引率責任者及びトレーナーはベンチに入ることはできない（ベンチ外にトレーナー席を設ける）。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーは、それぞれが左胸にマークをつけなければならない。
- (3) 監督はスコアラーズテーブルに最も近い位置でチームベンチに座る。ただし、ラリー中であっても試合を妨げない、または遅延させない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。なお、ラインジャッジの判定に影響がある場所には立たないこと。
- (4) ベンチスタッフは、ネクタイ及びジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用する。Tシャツ等の襟のないものや、短パン、ハーフパンツ等は許可されない。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。

4 コートワイピングについて

- (1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間に行う。ただし、コンポジションメンバー以外の登録されたメンバーから最大2名までをクイック・モップパーとしてベンチの両側に配置できる。1名の場合は監督席と記録席の間に配置しワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイック・モップパーは、モッピングが目的なので応援等はできない。

- (2) タイムアウト中、およびセット間については、クイック・モップが各コートに用意されているモップを使ってコートワイピングを行う。ただし、クイック・モップがない場合は、競技者あるいはベンチスタッフが行って良い。

5 リベロ・プレーヤーについて

- (1) リベロ・プレーヤーは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
- (2) リベロ・プレーヤーは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。対照的な色でない場合、競技委員・審判委員の判断で、ベストの着用を指示することがある。
- (3) 本大会は、アシスタント・スコアラーを参加チームが担当するので、交代する時はサイドライン上で一度、対になり立ち止まる。また、タイムアウト後は、前ラリーの状態に戻り、その後に交代する。
- (4) 正規の競技者とリベロ・プレーヤーは以下のとおり。
- ①登録12名の場合、リベロ・プレーヤーの人数は0名・1名・2名のいずれでも良い。
 - ②登録13名及び14名の場合、リベロ・プレーヤーの人数は2名でなければならない。

6 試合と試合前の練習について

- (1) 開場時間は全日程8:00とする。また1日目・2日目の第1試合練習開始は8:20とする。最終日については準備ができ次第とする。
- (2) 全日程、第1試合の開始時刻は9:00とする。
- (3) 大会2日目までアップフロアは設定されていない。ただし最終日のみ函館アリーナのサブアリーナについてボールを使用したウォーミング・アップを認める。
- (4) チームがその日の初戦の場合、アリーナにて、コート・ボール・ネットを使ったウォーミング・アップを第1試合は40分間、第2試合以降は30分間（ただし公式練習を含む）行う。その他の場所においてはランニング・ストレッチ等のみとし、ボールを使うことはできない。
- (5) 1日に2試合以上ある場合、試合が連続しない時は前の試合が終わってからおおむね10分後、連続する場合は20分後にプロトコールを開始する。
- (6) コート練習の開始については、競技委員や審判委員の指示に従うこと。（コートチェック後）
- (7) 公式練習には、コンポジションメンバー以外の登録メンバーもボールキーパー（ユニフォーム以外のものを着用する）として練習に参加することができる。 ※ボールキーパーはコート外でボールを拾うことのみが許される。
- (8) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用して練習しているチームの妨げにならないよう、もう一方のチームはエンドライン後方フリーゾーンまたはチームベンチ前にてウォームアップを行う。

7 コートオフィシャルについて

コートオフィシャルはスコアラー1名、アシスタント・スコアラー2名、ラインジャッジ4名、点示2名の計9名とする。

- ①予選グループ戦については第1試合は第3試合の両チーム、以降勝ちチームとする。
- ②決勝トーナメント戦については第1試合は第3試合の両チーム、以降負けチームが行う。
- ③最終日については、当番校・地元函館協会が行う。

なお、最終日以外でも当番校・地元函館協会・大会審判員が行うことがある。

8 その他

ビデオ撮影について、チームベンチ側（ベンチ・アップゾーン等）での撮影は禁止とする。